

[用語の解説]

就業状態は、調査週間中(毎月の月末1週間)の活動状態により次のように区分する。

15歳以上人口	労働力人口	就業者	従業者
			休業者
	非労働力人口	完全失業者	

労働力人口

15歳以上人口のうち、次の就業者と完全失業者を合わせたもの

就業者

次の従業者と休業者を合わせたもの

従業者

調査週間中に収入を伴う仕事を1時間以上した者(学生のアルバイト、主婦のパートタイム、内職等を含む)

休業者

仕事を持っていながら調査週間中は病気や休暇などのため仕事をしなかった者

完全失業者

仕事がなく調査週間中に少しも仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者及び仕事があればすぐにつくことができる状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者

非労働力人口

15歳以上人口のうち、労働力人口以外の者(家事、通学、高齢者など)

労働力人口比率

$$= \text{労働力人口} / \text{15歳以上人口} \times 100$$

完全失業率

$$= \text{完全失業者数} / \text{労働力人口} \times 100$$

< 推定方法及び標本誤差 >

この調査結果は、国(総務省)が実施している「労働力調査」の愛知県分の個別データ(毎月約2,200世帯、15歳以上の世帯員約5,300人)の使用について総務省の承認を得た後、集計を統計センターに委託し、独自に公表するものです。

また、「労働力調査」は、都道府県毎の標本抽出は行っておりません。そのため、この調査結果は全国に比べ誤差が大きくなりますので、利用にあたってはご注意ください。

本県の平成18年平均の標準誤差及び標準誤差率は、下表のとおりです。

平成18年平均の標準誤差及び標準誤差率 (千人、%)

年平均			平成18年
試算値結果	労働力人口	(合計)	3906
		就業者	3797
		完全失業者	110
	非労働力人口		2261
標準誤差	労働力人口	(合計)	25
		就業者	25
		完全失業者	5
	非労働力人口		25
標準誤差率	労働力人口	(合計)	0.6
		就業者	0.7
		完全失業者	4.3
	非労働力人口		1.1